

平成 30 年度

施設評価調書

施設の名称……稲生沢公民館

所管担当課……教育委員会生涯学習課

平成 30 年 7 月

平成 30 年度	施設名 (愛称名)	下田市立稲生沢公民館	番号	27
----------	-----------	------------	----	----

設置目的の達成度

1 計画(Plan)と実績(Do)

設置目的	社会教育法第 20 条の目的を達成するため 第 20 条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。					
運営事業名	H28 年値	H29 年目標値	H29 年実績値	対前年比	目標達成率	評価
① 公民館活動推進事業 (講座企画運営事業)	212 人	220 人	290 人	136.79%	131.82%	A
② 公民館活動推進事業 (会議室貸出事業)	4,786 人	4,800 人	6,161 人	128.73%	128.35%	A
設置目的に対する総合評価						A
目的達成度の 評価基準	① 参加者数*実施数 (複数講座がある場合は全講座の合計) ② 利用者合計人数 評価：目標達成率 A100%以上、B100%未満 80%以上、C80%未満 60%以上、D60%未満 40%以上、E40%未満					

2 現状分析(Check)

運営事業の 意義と現状	① 市の厳しい財政状況の中、限られた予算で館長に公民館講座を企画していただき、運営している。昨年度より 1 講座増加し、参加者数が増加している。 ② 公民館の総利用者数については、平成 28 年度比で 1,375 人増加している。
上記の原因	① 1 講座増加したこともあり、目標値以上の参加者数となっている。 ② 行政等による利用が増え、目標値以上の利用者数となっている。

3 次年度以降への改善点(Action)

具体的な 改善方策	① 公民館講座については、統廃合が控えていることもあり、現在開設されている公民館講座の自主的活動への移行を推進したい。 ② 統廃合計画に基づき、地元区との協議を重ねた結果、地元区では譲渡を受けず、廃止する方針となったが、廃止時期は未定である。今後は、統廃合の進捗状況の説明や、代替施設の案内等、利用者に対する周知を行いたい。		
H30 年度運営 事業と目標値	運営事業名	H30 年度目標値	備考
	① 公民館活動推進事業 (講座企画運営事業)	290 人	前年度維持 290 人
	② 公民館活動推進事業 (会議室貸出事業)	6,200 人	前年度維持 6,161 人≒6,200 人

※参考 前年度までの運営事業の実績値と評価

運営事業名	H 23 年度	H 24 年度	H 25 年度	H 26 年度	H 27 年度	H 28 年度
総合評価	A	B	B	D	B	D
①公民館活動推進事業 (講座企画運営事業)	A	A	C	E	A	D
	711 人	1,049 人	790 人	261 人	514 人	212 人
② 公民館活動推進事業 (会議室貸出事業)	A	C	A	C	C	C
	7,075 人	5,573 人	6,549 人	5,094 人	6,169 人	4,786 人

平成 30 年度	施設名 (愛称名)	下田市立稲生沢公民館	番号	27
----------	-----------	------------	----	----

効 率 性

1 計画(Plan)と実績(Do)

効率性指標		H28 年度値	H29 年目標値	H29 年実績値	対前年比	目標達成率
①利用単位 当たり経費	A 施設総利用 者数等	4,786 人	4,800 人	6,161 人	128.73%	128.35%
	B 年間経費 (除く収入) 経費+市職人件費	1,973,790 円	—	1,693,596 円	85.80%	—
	B/A	412 円/人	410 円/人	275 円/人	66.75%	149.09%
③ 光熱水費		620,133 円	589,000 円	493,019 円	79.50%	119.47%
③ 消耗品費		16,512 円	17,000 円	21,586 円	130.73%	78.75%
効率性指標の考え方等		A 利用者数：公民館利用者人数 B 年間経費：市の経費総額と事務に係る人件費（職員人件費÷職員数）*1/40 人工				

2 現状分析(Check)

効 率 性 の 現 状	前年度と比較し、光熱水費が約 21%減少したが、消耗品費が約 31%増加した。利用者数については 1,375 人の増加であった。年間経費については、前年度に比べて減少がみられ、利用単位当たりの経費が大きく下がっている。
-------------	---

3 次年度以降への改善点(Action)

具 体 的 な 改 善 方 策	これまでと同様に、光熱水費、消耗品の増加を最小限最低限に止めるよう、節電・節約に取り組み、利用者への声掛け等の協力依頼や掲示物等により節電・節約の周知徹底を図る。		
H30 年度効率性 の 目 標 値	①利用単位当たり経費 B/A	270 円/人	前年度実績維持 275 円/人≒270 円/人
	②光熱水費	468,000 円	前年度実績の 5%削減 493,019 円*0.95≒468,000 円
	③消耗品費	21,000 円	前年度実績維持 21,586 円≒21,000 円

※参考 前年度までの効率性指標

効率性指標		H24 年度決算	H25 年度決算	H26 年度決算	H27 年度決算	H28 年度決算
① 利用単位 当たり経費	目標値 (人)	5,900 人	5,580 人	6,550 人	6,200 人	4,800 人
	A 実績値	5,573 人	6,549 人	5,094 人	6,169 人	4,786 人
	B 実績値	2,040,450 円	3,051,933 円	1,886,832 円	1,999,290 円	1,973,790 円
	B/A	366 円/人	466 円/人	370 円/人	324 円/人	412 円/人
	対前年比 (B/A)	172.64%	127.32%	79.40%	87.57%	127.16%
	目標達成率 (人)	94.46%	117.36%	77.77%	99.50%	99.71%
②光熱水費	目標値	682,000 円	692,000 円	729,000 円	757,000 円	725,000 円
	実績値	728,574 円	767,571 円	797,391 円	764,140 円	620,133 円
	対前年比	101.48%	105.35%	103.88%	95.83%	81.15%
	目標達成率	93.61%	90.15%	91.42%	99.07%	116.91%
③消耗品費	目標値	16,000 円	23,000 円	13,500 円	12,000 円	20,000 円
	実績値	23,401 円	14,201 円	12,907 円	20,074 円	16,512 円
	対前年比	143.18%	60.68%	90.89%	155.5%	82.26%
	目標達成率	68.37%	161.96%	104.59%	59.78%	121.12%

平成 30 年度

施設名 (愛称名)	下田市立稲生沢公民館
-----------	------------

番号	27
----	----

4 その他の指標

受益者負担 の適正性	区 分	説 明	単 位	H27 年度	H28 年度	H29 年度
	①有料部分の 年間経費	使用料等を徴収する部分 の年間経費	円	1,999,290	1,973,790	1,693,596
	②受益者負担 額	施設の本来の目的による 使用料等の年間総額	円	419,370	448,410	419,060
	③受益者負担 比率	②÷①	%	20.98	22.71	24.74
	④補正受益者 負担額	減免者より正規の料金を 徴収したと仮定した場合 の受益者負担額	円	632,810	705,470	664,500
	⑤補正受益者 負担比率	④÷①	%	31.65	35.74	39.24

運営に掛か る税負担 (市民負担)	年度		H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(予算)
	人口 (4 月 1 日 : 人)		23,444	22,983	22,477	21,973
	人口 1 人あ たり (円/人)	運営経費 (収入除く)	67	87	75	—
		年間総経費	240	224	218	—

平成 30 年度

施設名（愛称名） 下田市立稲生沢公民館

番号 27

利用者満足度調査

※アンケート実施無し。但し、予約受付時、使用后、館長会議等にて、意見聴取している。

施設修繕計画及び備品購入計画

破損年度	全ての破損した箇所・備品名	経費見積	修繕・買換等 予定年度	備考（修繕済年度等）
29	2階小便器フラッシュバルブ取替	97,200	29	29.9.6
29	弱電線撤去	10,368	29	29.11.14

※今後想定される維持管理事項

- ・ 特段、緊急を要する修繕箇所は無いが、空調設備等、建物全体が老朽化・劣化が進行している状態。

平成 30 年度	施設名（愛称名）	下田市立稲生沢公民館	番号	27
----------	----------	------------	----	----

管理運営上のその他評価項目

当該施設の必要性 廃止、休止等の可能性 施設の設置目的変更の可能性 民間による管理運営の可能性 今後の管理運営主体の見込み 行政関与の妥当性	公民館統廃合計画に基づき、地元区との協議を重ねた結果、地元区では譲渡を受けず、廃止する方針となった。廃止時期や施設の設置目的変更については、現在未定である。
施設の管理運営と経費の妥当性	市立公民館の中では比較敵新しく状態の良好な公民館であるため、市の厳しい財政状況も考慮し、可能な限り、必要最低限、使用に耐え得るまでに修繕等を施し運営している状況にある。また、備品の劣化等については、緊急を要するものから順に対応し、必要最低限の経費で運営している状況にある。
施設の性質や実費経費からみた受益者負担の妥当性	施設の性質上、受益者負担の原則から維持管理費に見合う使用料を見込んだ受益者負担を使用者に求めることは難しい。しかし、施設の老朽化も進んでおり、必要経費が増加することが予想されるため、施設に見合った適正な受益者負担を検討する必要がある。
その他の管理運営上の課題	利用者に対する統廃合の進捗状況の説明や、代替施設の案内等、利用者に対する周知が必要である。
【参考】 市内や賀茂郡内の類似施設の管理運営状況等	県中東部内では、公民館廃止、代替施設として生涯学習センターの設置・整備等が顕著である。県西部地域は社会教育法による公民館を設置している自治体が多いが、県中東部内で見ると当市は公民館設置が多いといえる。

平成 29 年度 実施運営事業内容

運営事業名	事業内容	次年度に向けての改善事項
① 公民館活動推進事業 (講座企画運営事業)	みずる教室、手造り人形教室、文化講座 計 3 講座で 24 回、290 人の利用があった。	講座の募集から実施後の報告や広報活動等の情報発信を強化することで、既存の公民館講座への参加者数の増加を図り、また、既存の社会教育関係団体、ボランティア活動団体等の公民館活動の啓発や活動の活性化を図り、公民館活動を地域に広げる。既存の固定化している講座を自主的活動に移行するよう推進したい。
② 公民館活動推進事業 (会議室貸出事業)	500 回、6,161 人の利用があった。	

平成 30 年度

施設名 (愛称名) 下田市立稲生沢公民館

番号 27

施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市立稲生沢公民館		2 担当課 担当係	生涯学習課 社会教育係					
3 所在地	下田市立野 191 番地		4 設置年月	平成 6 年 1 月					
5 総合計画の 位置付け	Ⅱ人が輝くまちづくり		(1) 自ら学ぶ人づくり		生涯学習				
	基本目標		いつでも、だれでも生涯にわたり学習できるまちを目指します。						
	基本目標を実現 するための施策		項目 ・ 公民館講座 ・ 公民館統廃合		内容 ・ 公民館講座の開設 ・ 地域の実情に見合った公民館 の再編を図ります。				
6 設置目的	社会教育法第 20 条の目的を達成するため 第 20 条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。								
7 設置根拠	下田市立公民館設置管理条例								
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 746.47 m ² 建物面積 延面積 455.18 m ² 1F 253.41 m ² 2F 201.77 m ² 構造 鉄骨造 2 階建							
		1F 事務室・大会議室・管理人室・湯沸室・トイレ 2F 小会議室・和室・図書コーナー・調理室・湯沸室・トイレ							
	実施事業 の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館講座の実施 ・ 地域文化祭等の催事会場提供 ・ 地域住民の学習、文化活動の会場提供 ・ その他「社会教育法第 22 条 (公民館の事業)」に基づくもの 							
	料金体系	料金区分	会議室等使用料 大会議室・小会議室・和室・調理室						
		主な 料金	名称	午前 (9:00~12:00)		昼間(13:00~17:00)		夜間(18:00~21:00)	
				普通	入場料	普通	入場料	普通	入場料
多目的ホール兼大会議室			2,050 円	4,100 円	2,050 円	4,100 円	3,080 円	6,160 円	
小会議室	1,020 円		2,050 円	1,020 円	2,050 円	2,050 円	4,100 円		
	和室	1,020 円	2,050 円	1,020 円	2,050 円	2,050 円	4,100 円		
	調理室	2,050 円	—	2,050 円	—	3,080 円	—		
減免内容	(使用料の免除) 第 10 条 市長は、特に必要があると認めるときは、別表に定める使用料を減免することができる。 (1) 市の主催で使用するとき、又は国の機関若しくは地方公共団体が市と共催で使用するとき。(全額) (2) 公共的団体の主催で法第 20 条の目的に基づき住民のために使用するとき、又は市内の保育所、幼稚園若しくは小・中学校の主催で、園児、児童、若しくは生徒の教育のために使用するとき。(全額) (3) 公立小・中学校 (市内の公立小・中学校を除く。)若しくは公立高等学校の主催で、その目的が教育のために使用するとき、又は委員会が認めた社会教育関係団体の主催で、その目的が当該団体の設立目的のために使用するとき。(5 割減額) (4) 国の機関又は地方公共団体の主催で、その目的が公共のために使用するとき。(3 割減額) (5) 全各号に掲げるもののほか、市長が特に必要があると認めるとき。(3 割減額)								
利用料金制度	<input type="checkbox"/> 有		<input checked="" type="checkbox"/> 無						
施設運営 方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接運営								
	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度 →	指定管理者							
	<input type="checkbox"/> 一部委託 →	委託内容							

平成 30 年度

施設名（愛称名） 下田市立稲生沢公民館

番号 27

	直接従事職員	下田市職員数 館長 1名 管理人 1名					
9 市内の類似施設	下田市所有	他 5 公民館（社会教育法の規定による施設）					
	民間所有	地区集会所等（自治会管理の地域コミュニティ施設）					
10 取得費等の情報 (単位：円)	取得費及び財源内訳		平成 29 年度末残高		(備考) 減価償却の方法 ・ 定額法 ・ 残存価格 1 円 ・ 新築翌年度から償却 ・ 耐用年数 38 年 ・ 建物経過年数 24 年		
	土地取得費		土地残高				
	建物取得費	149,178 千円	建物減価償却後残高	62,177 千円			
	財源内訳	149,178 千円	減価償却費 = 取得価格 * 0.9 * 償却率 = 3,625,025				
	国・県支出金	25,000 千円					
	市債	85,000 千円	市債残高	0 千円			
	一般財源						
	寄附金等						
	物品(*万円以上)		物品減価償却後残高				
	11 年間経費等推移 (単位：円)	区 分		H27 年度決算		H28 年度決算	H29 年度決算
収入			419,370	448,600	419,870	1,687,000	
収入合計			419,370	448,600	419,870	1,687,000	
支出		1 節 報酬		221,333	220,000	220,600	1,004,000
		7 節 賃金		424,700	407,650	424,700	1,699,000
		8 節 報償費		43,000	43,000	43,000	259,000
		9 節 旅費		592	690	3,848	34,000
		11 節 需用費		915,253	921,837	628,281	4,851,000
		消耗品費		20,074	16,512	21,586	361,000
		印刷製本費		0	8,712	4,986	30,000
		光熱水費		764,140	620,133	493,019	3,996,000
		下水道費		0	0	0	149,000
		燃料費		1,439	0	1,122	15,000
		修繕料		129,600	276,480	107,568	300,000
		12 節 役務費		69,541	115,700	114,658	585,000
		13 節 委託料		109,176	55,680	54,001	928,000
		14 節 使用料		32,365	32,365	32,631	644,000
		15 節 工事請負費			0	0	0
		18 節 備品購入費		0	0	0	0
		19 節 負担金		12,149	12,082	7,866	47,000
23 節 償還金利息及び割引料			0	0	0	0	
支出合計			1,828,109	1,809,004	1,529,585	10,051,000	
支出収入差引(支出-収入)				1,360,404	1,109,715	8,364,000	
減価償却費			3,625,025	3,625,025	3,625,025	9,439,300	
市債利息			0	0	0	0	
職員人件費			171,181	164,786	164,011	1,013,100	
下田市負担年間総経費			5,624,315	5,150,215	4,898,751	18,816,400	
備考	○ 人件費は、1 公民館を 1/40 人工として、職員人件費平均から算出したもの ○ 事務に係る市職人件費 = (職員人件費 ÷ 職員数) × 1/40 人工 × 公民館数						

平成 30 年度

施設名（愛称名） 下田市立稲生沢公民館

番号 27

12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度		H27 年度決算	H28 年度決算	H29 年度決算	H30 年度予算 (6 公民館)
		利用者数	市内	6,169 人	4,786 人	6,161 人	45,600 人 (見込)
			市外				
			合計	6,169 人	4,786 人	6,161 人	45,600 人 (見込)
	参考：利用単位 当たり市負担額		911.71 円/人	1076.10 円/人	795.12 円/人	412.64 円/人	
	算出方法：11 欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数						
	休館日	祝日、12/28 から 1/3 まで					
使用時間	午前 9 時から午後 9 時まで						